

短 歌

末武 有二 選

しき 蝋梅の香りたちくるお正月友も元気で賀状嬉 惣領 島まだ 廣^{ひる}子こ

どの国にもと 木山 赤城 香織あらたまの年の初めに願うのは平和の日々よ

の朝 一年の悩み悲しみ消えてゆく穏やか祈る元日 広崎 大ままは 原 郁な

多かれと 多かれと 広崎 瀬戸サイ子息子にも苦難乗り越えやっと春二人の門出幸

と乾杯かわす

広崎

过记

恵ぇ 美み

だご市や道幅広くなりにけり

一句鑑賞

金滿の裏で回っている政治

神宮前新橋完成渡り初め

カモ来るエサの支度や秋津川

大雪や被災地偲び唯祈る

お正月いつものように二人してまたよろしく

でゆこう百歳目指し もう遅い・今さら」などと思わずに「今から」 惣領 垣 野の

けない流行の動画 孫くればテレビの前でユーチューブついて行 広崎 日野ヒロ子

咲き誇る朝 生まれし子記念に植えた肥後椿枝を伸ばして 惣領 甲^ゕ 斐ぃ 道き 夫ぉ

きの賀状 新春のめでたき便り減ってきた内に感激手書 赤井 増^ます 岡 伸ぶよし

とするは何故 木山 本田 龍子庭先を我が物顔に通る野良猫目が合いドキリ 郷に建てし終の棲家は無念にも取り壊しに遭 守り 住み

投稿は、 一人一首(句)でお願いします。 う住みし三十七年

安永

俳 句

新学期子どもの声が走り行く 富士山は扇に見えし機中なり 湯豆腐や話題は昭和の時代など 千両のたわわになりて春近し

吊るし柿余命如何にと算えけり 木山 惣領 赤井 野々口トミ子ののぐち 木き米紫増素本版材を付けて 鎌ま 田だ 四に 真ま をなれま をない 子こ子こ心が 伸ぶ龍穹 禧と子こ

宮康 大山ちずる

徳島 純

る途中に、

樋の口観音堂がありま

砥川から常楽寺への林道を上が

Ш 柳

『お題』 自由詠

恥知らず裏金作りの議員連 新年は暗いニュースで明けにけり 惣領 野々口トミ子ののぐち 政界ウォッチ 友愛ニッポン

『お題』 新·円札

新円札他人より早く拝みたい 初詣大吉引いて宝くじ

ます。

樋口家は観音堂の建立に関

は『樋口家跡地』の石碑が建ってい

観音堂の道向かいのやぶの中に

真* 恵ぇ 木* 逸ら美* 子: 吉¦子:

ができます。

のことを表す文字も読み取ること わりがあると伝えられており、そ 河野 全平

選

益城の文化財 文化財保護委員会



下砥川

樋の口観音堂

布田川左門 選

聞き届け、

一切を円満に導くしぐ

与願印とは、仏様が衆生の願いを に錫杖、左手は与願印の姿です。 す。このお堂の観音立像は、右手

不甲斐ない野党へエールの声はなし被災地へ支援の増派続きけり 新円札「この人誰と」訊かれけり 赤井 酔いない

れています。

い」という願望の表れであるといわ

ており、

人々の「救いに来てほし

済しようと立ち上がった姿を表し さの印相です。立像は、人々を救

次回 1のお題 中国

新円札飾りて亡父へ報告す

広報係まで。締切は毎月15日(必着)です。 投稿は投稿者の住所、 電話番号を必ず記入し、 役

あり、

先祖が芦北から砥川に移り 元々は観音堂隣に本籍が

区長も、

砥川区長にお話を聞いたところ、

下砥川地区に住む、

樋口正博下